

## 学術研究船「白鳳丸」



### ▼主要目

建造年: 1989年

全長: 100.0m 巾 : 16.2m

深さ: 8.9m 喫水: 6.0m

国際総トン数: 3,991トン

航海速力: 16ノット

航続距離: 12,000海里

最大搭載人数: 89名

(研究者等35名を含む)

### ▼ミッション

- ・全国共同利用による汎用海洋調査船  
(主に外洋海域で長期間の研究航海)

### ▼主な実績

1989年 最初の研究航海実施

(伊豆小笠原海域・四国海盆・鹿島沖)

1989年 世界一周航海

1990年度～ 共同利用航海を開始

2004年 東京大学海洋研究所からJAMSTEC  
へ移管



独立行政法人

海洋研究開発機構

## 「白鳳丸」 船上設備



### ▼調査・観測支援装置

- ・音響航法装置
- ・電波航法装置
- ・Aフレームクレーン
- ・伸縮ビーム
- ・No.1-5, 8ウィンチ

### ▼研究室及び常設設備

- ・第1-10研究室
- ・ドラフトチャンバー
- ・生物資源音響探査装置(ARIS)
- ・液体シンチレーションアナライザー
- ・研究調査室
- ・超純水製造器

### ▼調査・観測装置

#### 【常設】

- ・マルチビーム音響測深機
- ・Acoustic Doppler Current Profiler
- ・曳航式海底イメージングシステム
- ・超深海用CTDシステム
- ・サブボトムプロファイラー
- ・船上重力系

#### 【入替装置】

- ・ピストンコアサンプラー、ドレッジ、採泥器



## 学術研究船「淡青丸」



### ▼主要目

建造年: 1982年

全長: 51.0m      巾: 9.2m

深さ: 4.2m      喫水: 3.7m

国際総トン数: 610トン

航海速力: 12ノット

航続距離: 6,200海里

最大搭載人員: 38名

(研究者等11名を含む)

### ▼ミッション

- ・海洋調査船としての運用  
(主に日本近海の調査・観測)

### ▼主な実績

1983年 最初の研究航海実施

(東京湾・相模湾・駿河湾)

1983年 公募に基づく共同利用航海を開始

1988年 初の外航 (釜山寄港)

2004年 東京大学海洋研究所からJAMSTEC  
へ移管



独立行政法人

海洋研究開発機構

## 「淡青丸」 船上設備



### ▼研究室及び常設設備

- ・ 研究室（ドライ、セミドライ、ウエット共用）
- ・ ドラフトチャンバー
- ・ 超純水製造器

### ▼調査・観測支援装置

- ・ 電波航法装置
- ・ Aフレームクレーン
- ・ 伸縮ビーム
- ・ No.1-4ウィンチ

### ▼調査・観測装置

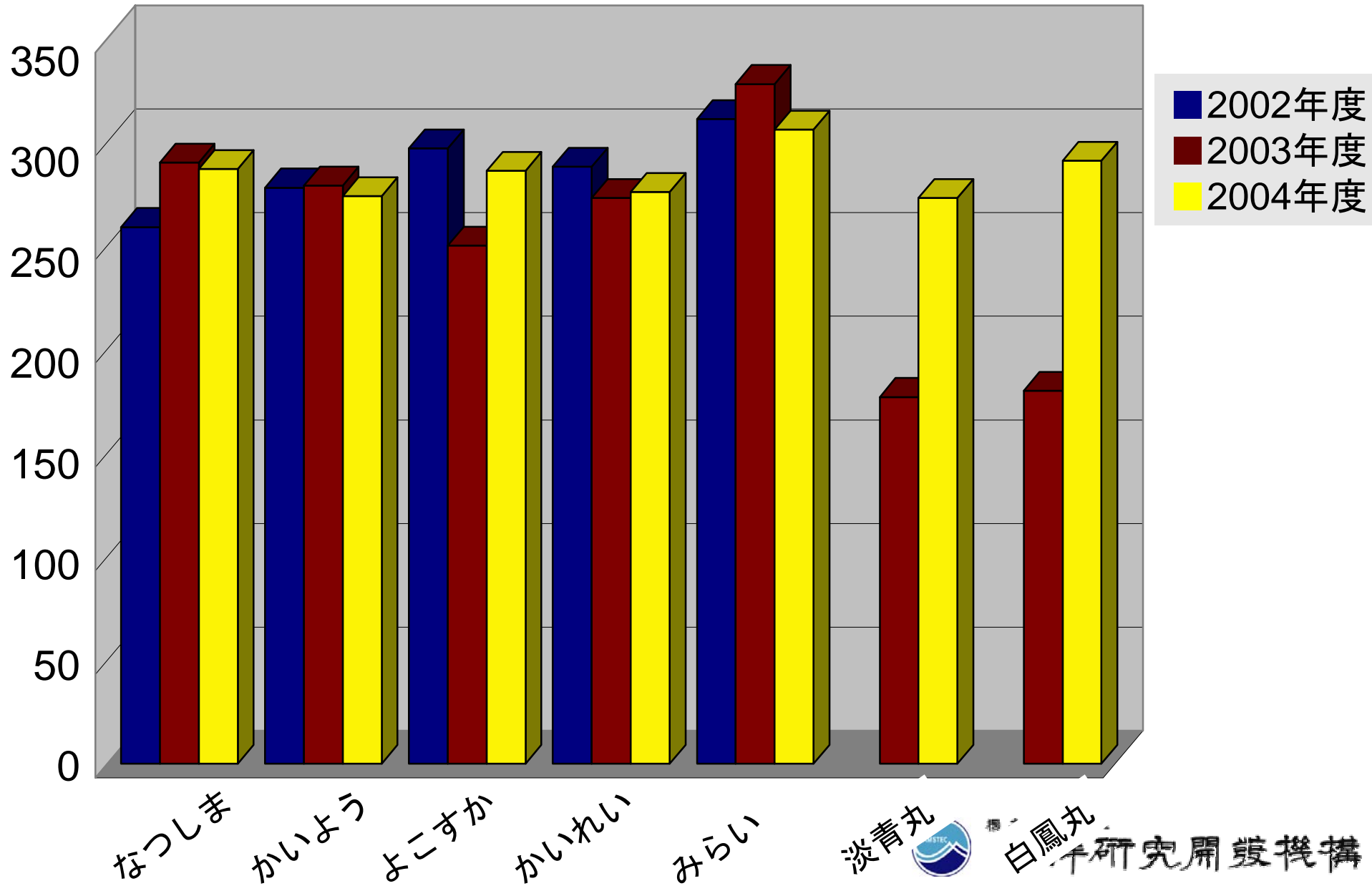
#### 【常設】

- ・ ADCP
- ・ 科学魚群探知機
- ・ スキャンニングソーナー
- ・ 生物採集ネット類

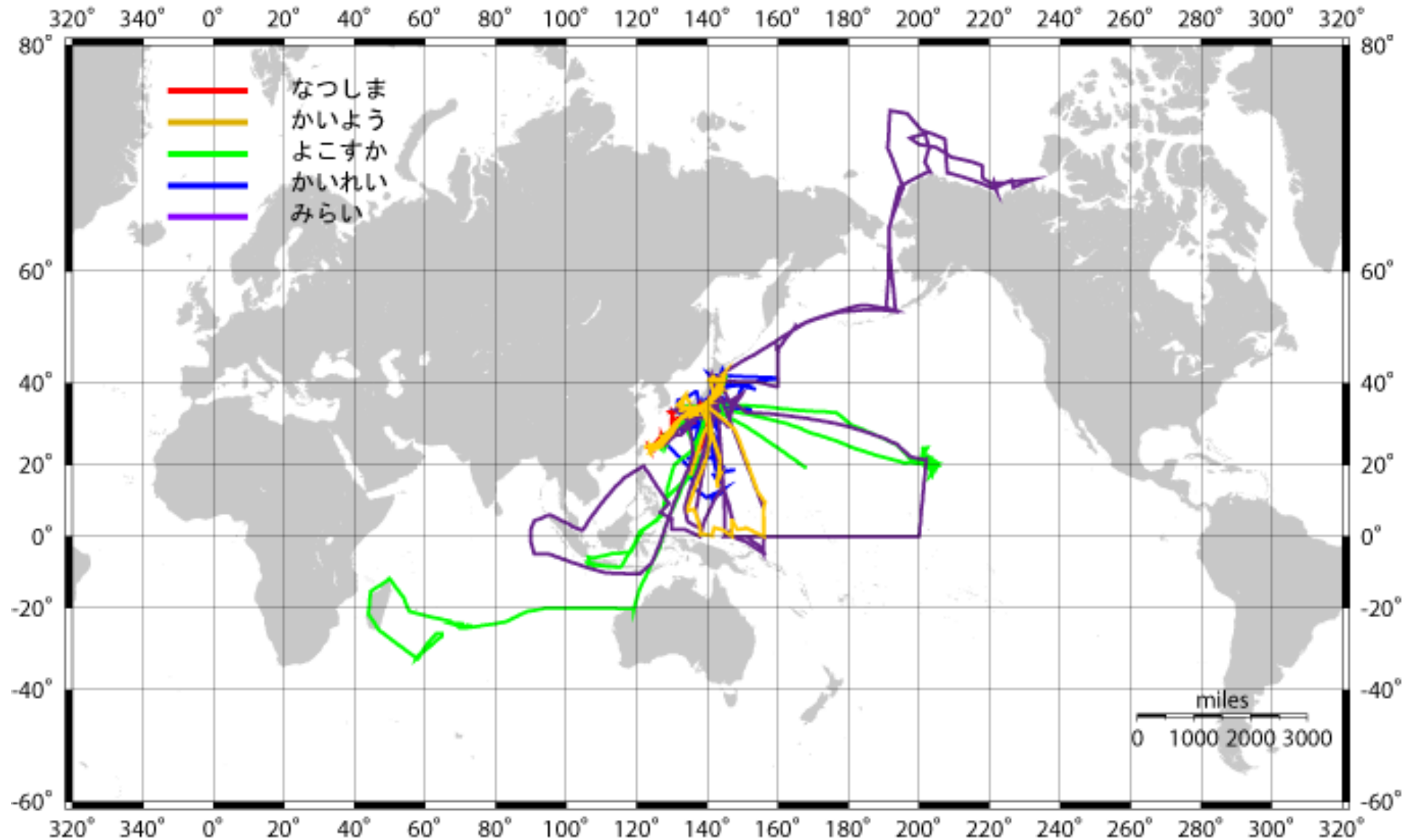
#### 【入替装置】

- ・ ピストンコアサンプラー、ドレッジ、採泥器

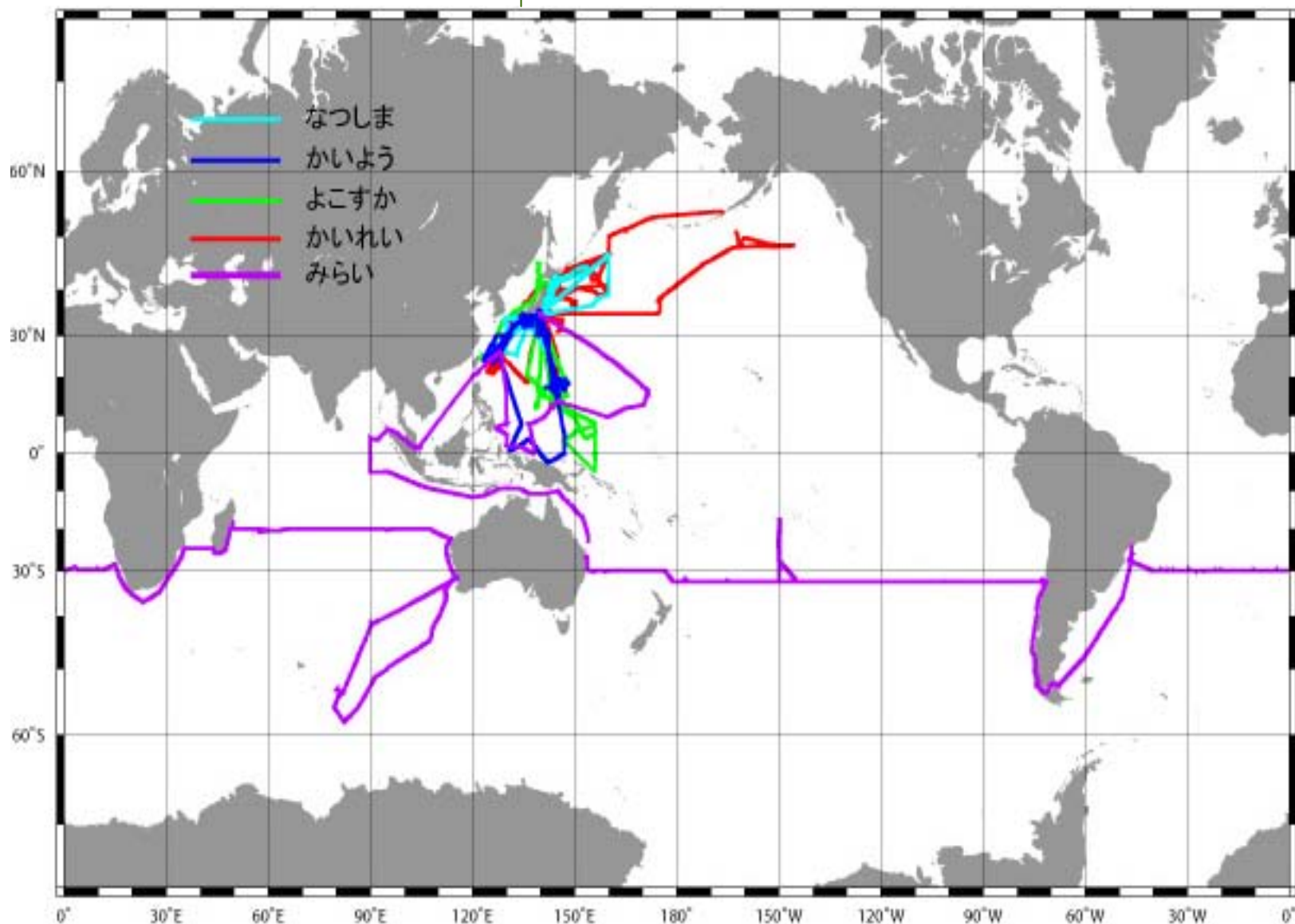
# JAMSTECフリート運航実績(2002-2004)



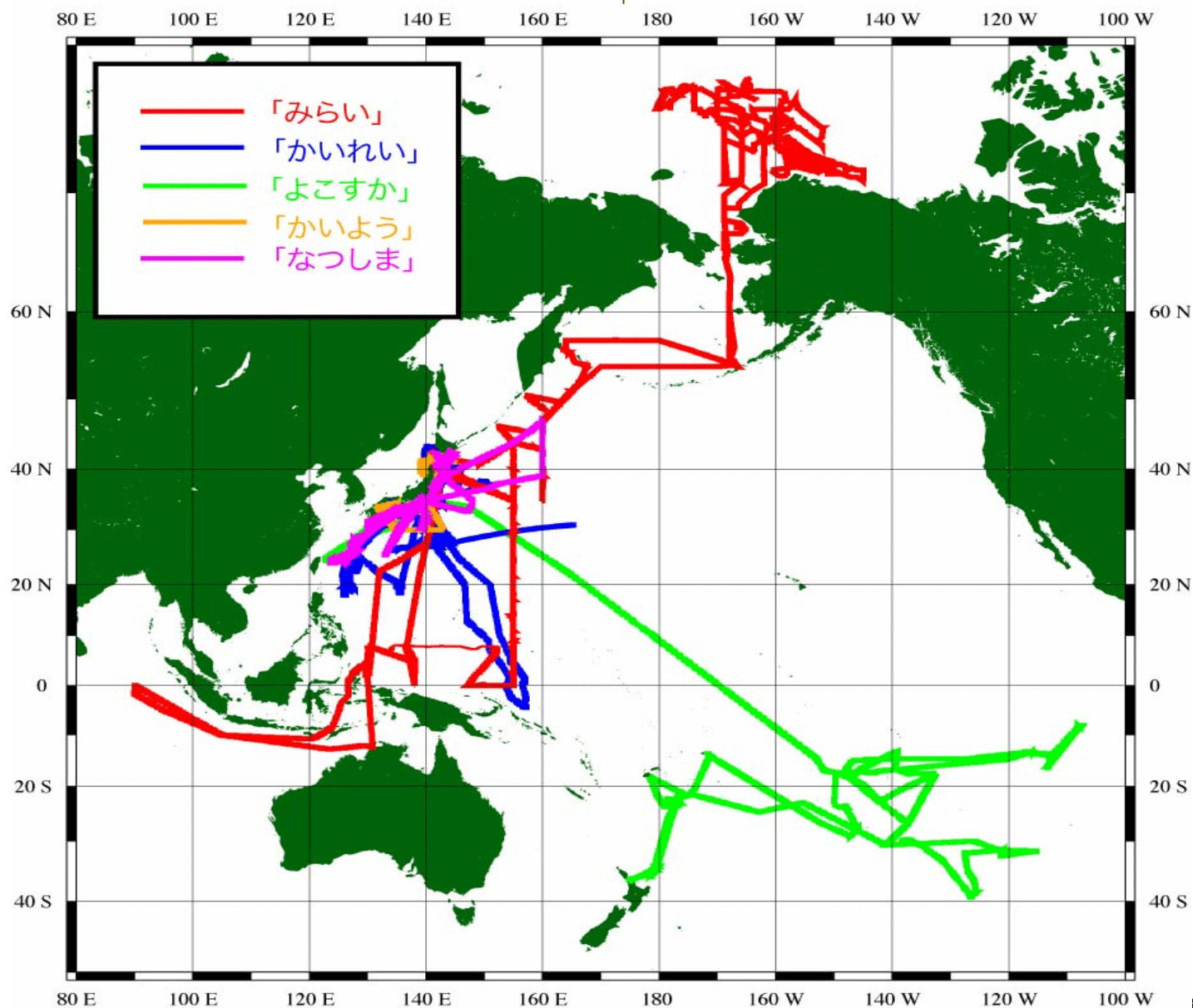
# JAMSTEC船舶の航跡図(2002)



## JAMSTEC船舶の航跡図(2003)

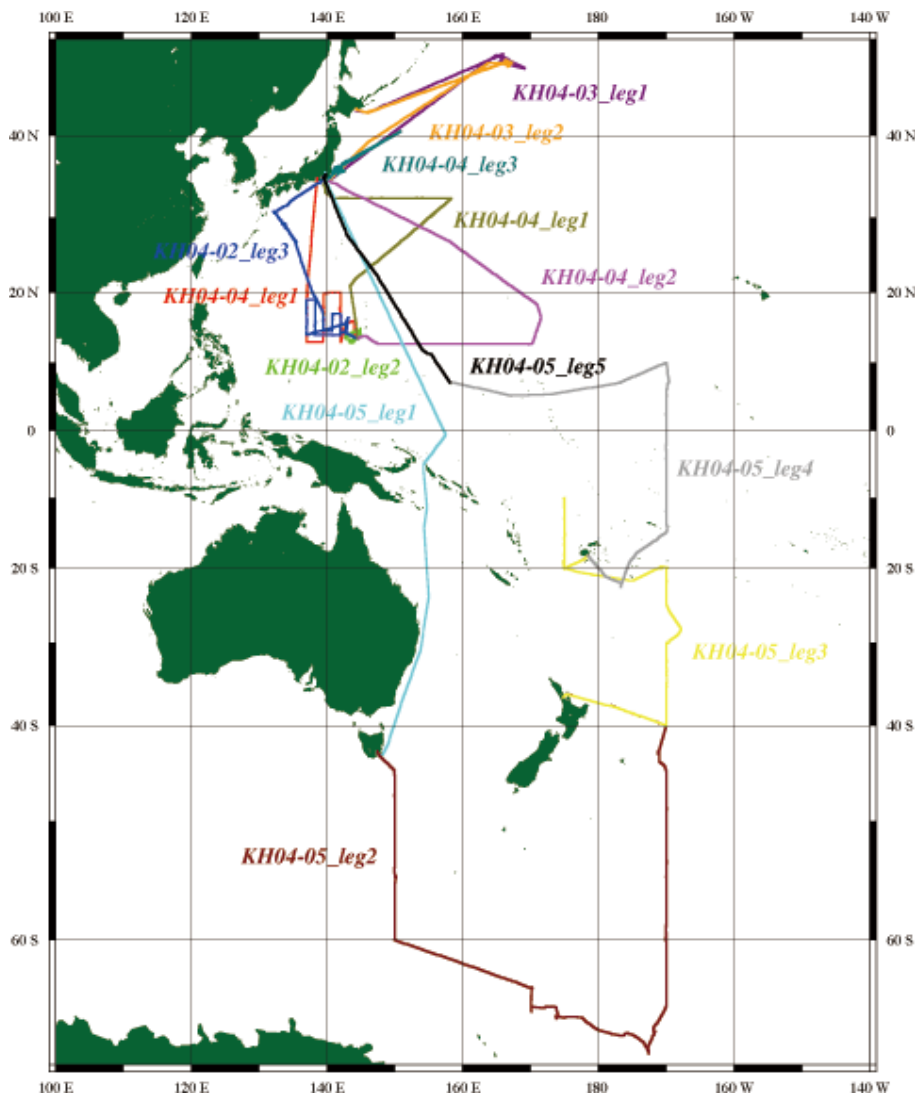


## JAMSTEC船舶の航跡図(2004) 5船

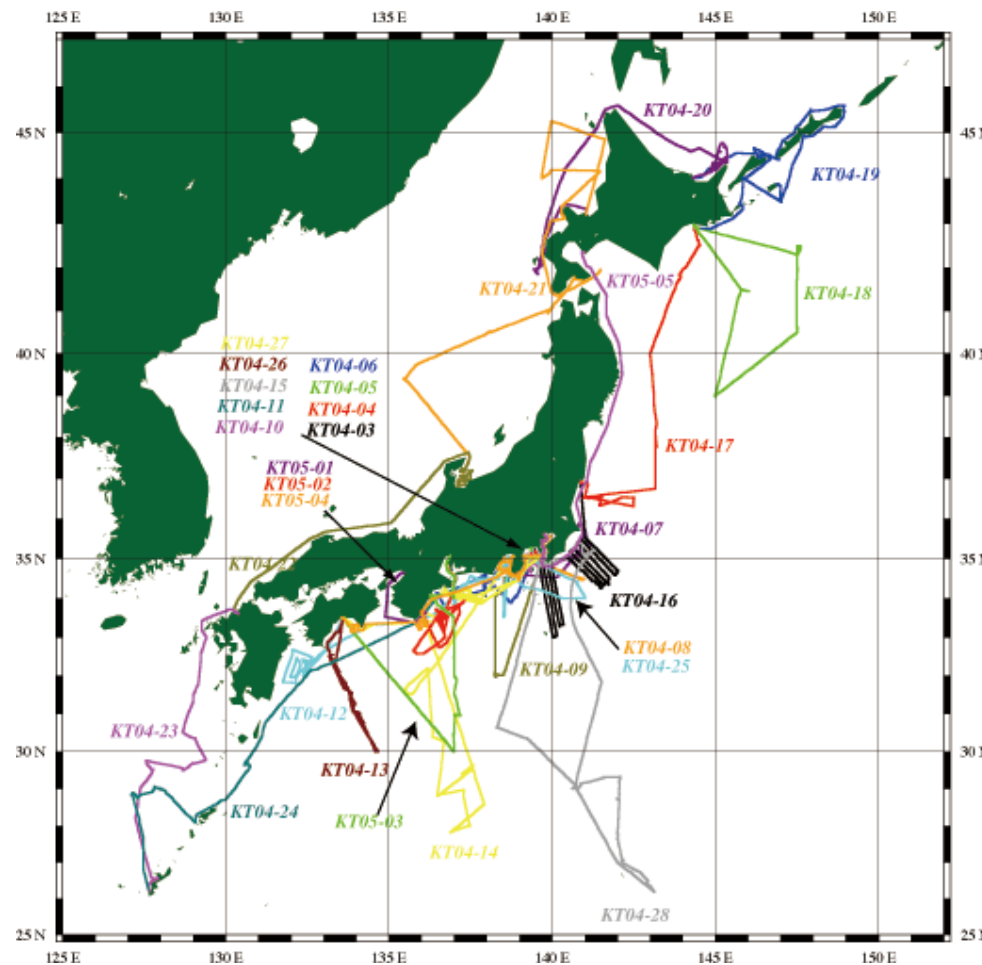




2004年度「白鳳丸」航跡図



2004年度「淡青丸」航跡図



# 船舶の運航計画策定のプロセス

## 所内利用

JAMSTEC  
各研究センター

課題

研究支援部

## 深海調査研究公募

応募課題

計画委員会

実施計画調整部会

推進委員会

深海調査研究  
年度計画案

## 「みらい」共同利用型

主要課題

運用検討委員会

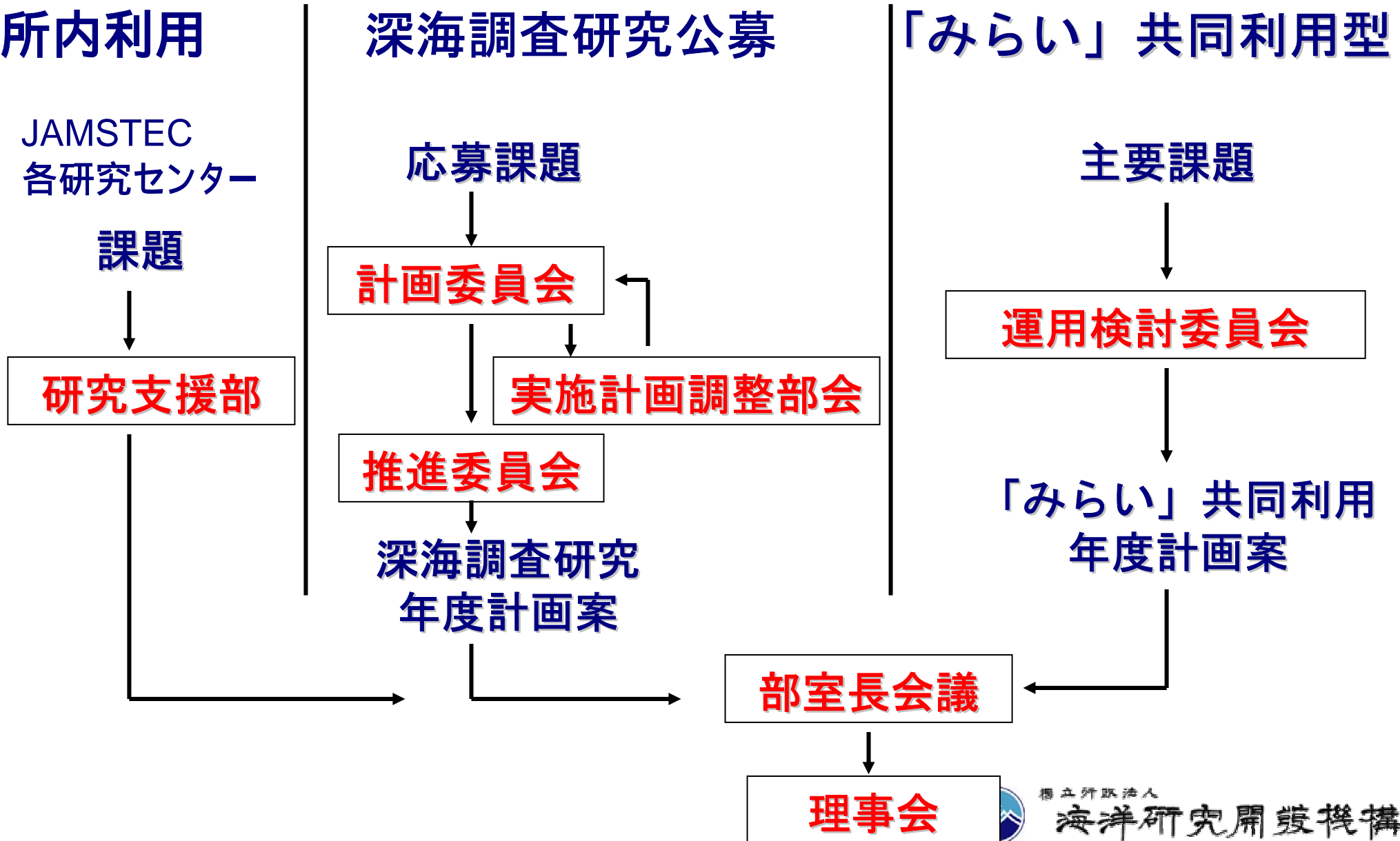
「みらい」共同利用  
年度計画案

部室長会議

理事会

独立行政法人

海洋研究開発機構



## 深海調査研究・「みらい」委員会構成

### ▼深海調査研究公募

#### 深海調査研究推進委員会

委員長：小林和夫 東京大学名誉教授  
委員：計9名（外部委員9名）

#### 深海調査研究計画委員会

委員長：藤本博巳 東北大学大学院教授  
委員：計12名（外部委員11名）

#### 深海調査研究実施計画調整部会

部会長：蒲生俊敬 東大海洋研究所教授  
部員：計8名（外部委員3名）

### ▼「みらい」共同利用型

#### 「みらい」運用検討委員会

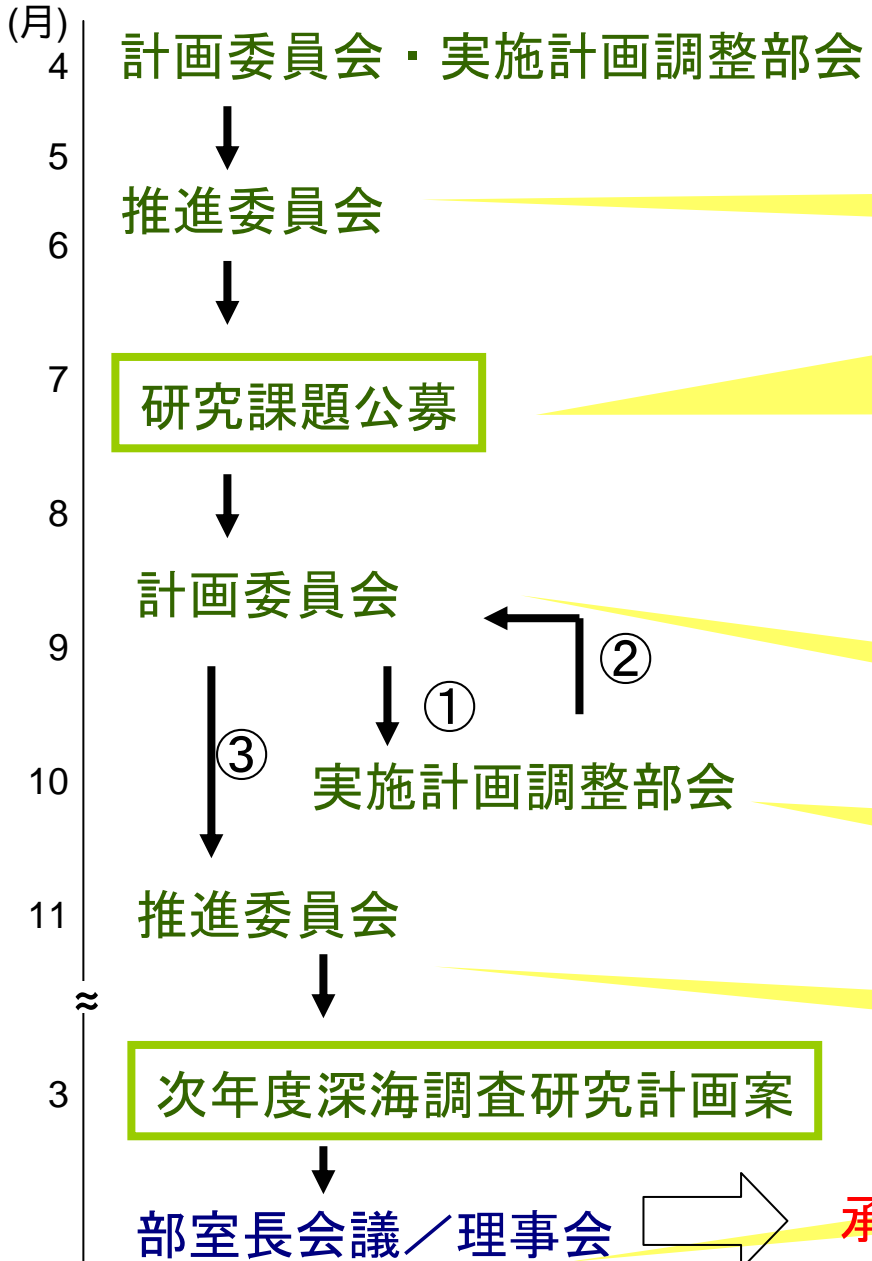
委員長：半田暢彦 名古屋大学名誉教授  
委員：計15名（外部委員14名）



独立行政法人

海洋研究開発機構

# 深海調査公募課題選定のプロセス



- 前年度実績及び成果の評価
- 公募方針、公募要領の策定
- 中期戦略、5カ年研究計画の策定

■総合的な見知からの審議

- 応募資格：
- 国公立研究機関、独立行政法人研究機関、特殊法人研究機関等に所属する研究者
  - 大学及びその他の教育機関に所属する教官及び研究者
  - 外国の研究機関に所属する研究者

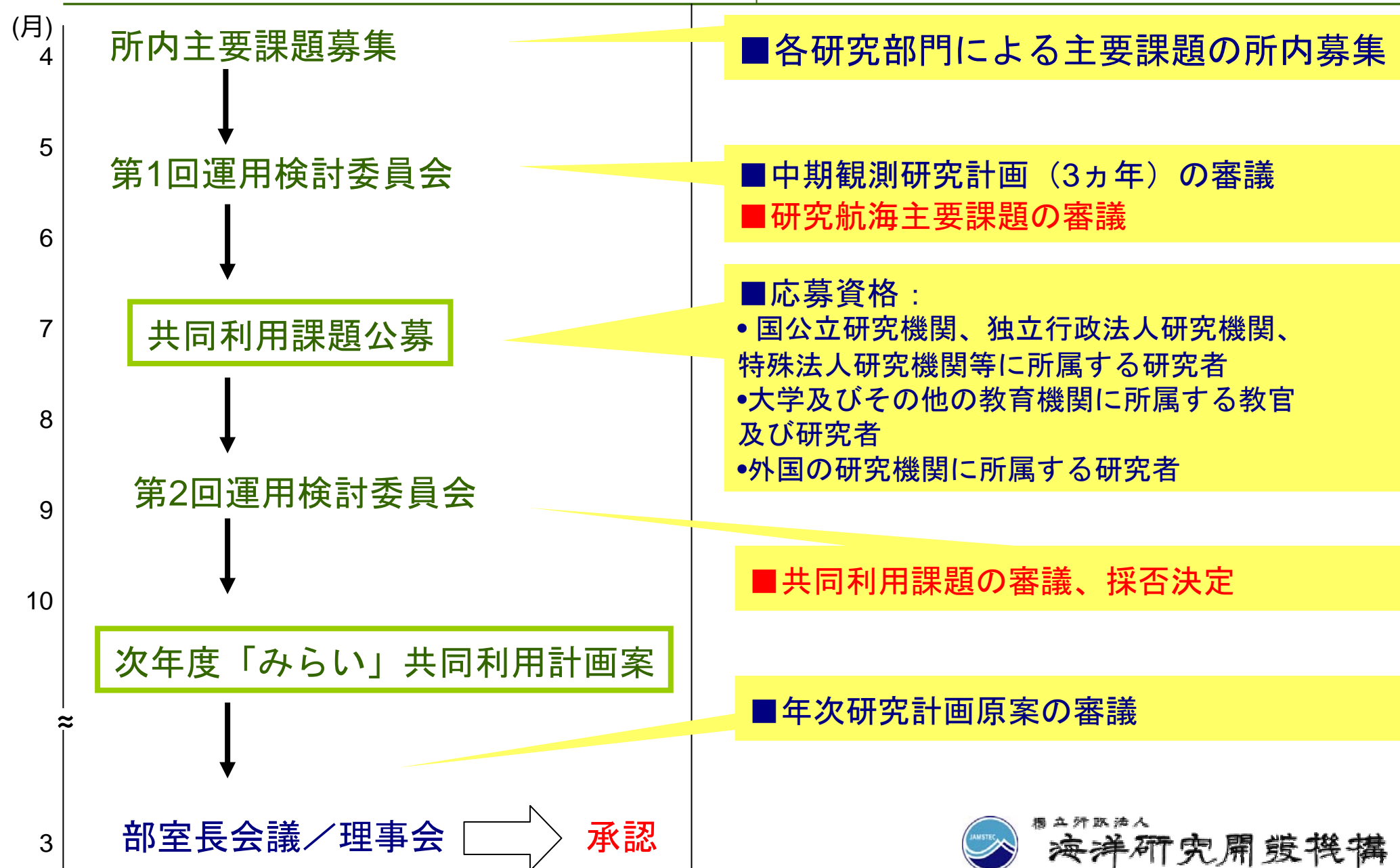
■応募研究課題の審査 (Watch Dog方式)

- 応募研究課題の採否決定
- 年次研究計画原案策定

■総合的な見知からの審議

■年次研究計画原案の審議

# 「みらい」共同利用型公募採択のプロセス



## 所内利用選定プロセス

### JAMSTEC各研究部署



- ・ 応募課題の選定
- ・ 応募部署内での優先順位付け

### 所内利用募集



- ・ 約1カ月間（通常7-8月）
- ・ 普及・広報等からも募集

### 所内利用検討会

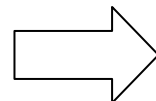


- ・ 深海調査研究公募等との調整
- ・ 各応募部署の優先順位に従い採択を決定

### 年度計画案



部室長会議／理事会

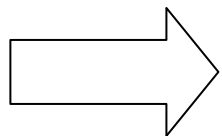


承認

## 現状の問題：航海の重複

### ▼年度計画策定システムが所内・所外に存在

- ・ JAMSTEC所内研究
- ・ 深海調査研究公募【事務局：JAMSTEC】
- ・ 「みらい」共同利用型公募【事務局：JAMSTEC】
- ・ 「白鳳丸」「淡青丸」共同利用公募【事務局：東大海洋研】



重複応募・重複採択の可能性

### JAMSTECの当面の対応

- ・ 学術研究船共同利用の委員会に情報を流す
  - 採択課題の重複を避ける
  - 将来？

# 船舶の長期保守運用計画

官庁船の寿命は**25年**と言われているが...

		第1期 中期計画					第2期 中期計画					第3期 中期計画					第4期 中期計画					第5期 中期計画																
\ 平成年度 船名・船齢		1 6	1 7	1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1	3 2	3 3	3 4	3 5	3 6	3 7	3 8	3 9	4 0												
「なつしま」	24																																					
「淡青丸」	23																																					
「かいよう」	20																																					
「白鳳丸」	16																																					
「よこすか」	15																																					
「かいいい」	8																																					
「みらい」	8																																					

30年?

25年?

25年?

25年?

30年?

30年?

30年?

特殊な船型  
25年以上の運用は困難?





# JAMSTEC船舶の全長と重量の関係

